

## 企画展「浮世絵 匠の技」のご案内

展示期間：2022年3月1日（水）～2022年8月21日（日）

このたび大阪浮世絵美術館では、浮世絵版画の技術・表現に注目した企画展「浮世絵 匠の技展」を開催いたします。18世紀頃、木版画の技術が向上したことで浮世絵版画は大衆文化として広まりました。浮世絵師は時代の最先端をいく風俗や話題を追い求め、彫師・摺師たちは技術の粋を集め、技巧を凝らした数々の浮世絵版画を作り上げました。本展では江戸時代から明治時代当時に摺られたオリジナルの浮世絵版画を間近でじっくりとご覧いただけます。

### 匠の技 空摺

墨線の代わりに輪郭線をへこませ、事物の質感を強める方法。現代でいうところのエンボス加工のようなものです。空摺用の版木に絵の具をつけず、版木にすぐ紙をのせ、湿りを与えて強く摺り、凹凸を出します。至近距離で見ることによる楽しみ、版画作品ならではの仕掛けです。



葛飾北斎 富嶽三十六景「遠江山中」



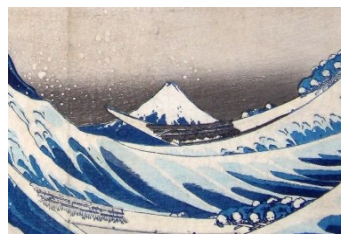
歌川国芳 山海愛度図会「おたのみ申したい 近江石灰」

### 匠の技 毛割

美人画や役者絵など、人物の顔を大きくとらえた大首絵の、髪の毛の生え際の美しさ、流れるような描線を見どころの一つとしてとらえ、一本一本彫りで表現する方法です。この毛割は、彫師の中でも「頭彫」と呼ばれる師匠クラスの職人しかできないもっとも難しい彫の技法とされました。

### 匠の技 ぼかし

画面のぼかすべき部分を濡れた布で拭き、水気を含ませたところに刷毛で絵の具をはいて摺り上げたグラデーションのこと。色の濃淡によって境界を曖昧することができます。ぼかしの技法は様々で、風景画の作品で多用され、作品に独特の雰囲気を与えています。



葛飾北斎 富嶽三十六景「神奈川沖浪裏」

高度な技法や表現をじっくりご覧いただけるよう、無料貸出のルーペを受付にてご用意しております  
(数に限りがございます。全て貸出中の場合はご容赦ください)

〒542-0085 大阪市中央区心斎橋筋2-2-23 不二家心斎橋ビル3F 大阪浮世絵美術館

※エレベーター、エスカレーター設備のないビルですので、予めご了承ください。

【開館時間】10:00～17:00（最終入館 16:30）

【休館日】月曜（祝祭日除く） ※開館時間・休館日は状況により急遽変更となる場合がございます。

詳しくはホームページをご確認ください。

【観覧料】大人1,000円 / 学生（学生証提示）600円 / 小学生（7～12歳）300円

<本件に関するお問い合わせ先>

TEL.06-4256-1311 / FAX.06-4256-1312 / Mail.<info@osaka-ukiyo-e-museum.com>

<https://osaka-ukiyo-e-museum.com/>

